

ごみ焼却余熱有効利用促進 市町村等連絡協議会

通称
余熱協

余熱協 とは

余熱協は、ごみ焼却熱の有効利用により、省資源・省エネルギーや地球温暖化抑制などに資すること、ごみ焼却施設に対する社会的評価の向上を図ることを目的に、全国の焼却施設を所有する市町村が集まり、平成4年(1992年)に設立されました。

余熱協 の構成

全国約90の自治体で構成されており、一般廃棄物処理施設が抱える課題や、余熱利用に関する取組について情報共有を行っています。また、全国9つの地区に分かれ、地区協議会など地区ごとの活動も行っています。

会費

入会金 無し 年会費 25,000円



活動内容

● 要望活動

清掃事業や余熱利用に関して、国や関係機関等へ要望活動を行っています。
要望先へ直接足を運び会員からの声を伝えています。

要望内容

循環型社会形成推進交付金制度
出力制御
FIP制度 など

● 専門委員会

施設調査や会員へのアンケートを実施し、他自治体の施設状況や、電力事業に関する取組状況等について会員間で情報共有を行っています。

取組内容

自己託送等に関する調査
電力市場等に関するアンケート
一般廃棄物処理施設調査 など

● 技術研修会・施設研修会

全国の会員が集まる技術研修会・施設研修会を毎年開催し、関係機関を招いての講演会や余熱協会員からの発表、廃棄物処理施設の見学等を実施しています。
また、情報連絡会を開催し、全国の会員と意見交換ができる機会となっています。



技術研修会

● 地区活動

地区ごとに協議会や研修会等を実施しており、廃棄物処理施設に関する課題や電力事業への取組状況などを議題に討論を行ったり、施設見学を行ったりしています。



施設研修会

余熱協活動の特徴はこれ!

その1

会員間の交流

全国の会員が集まる技術研修会・施設研修会を毎年開催しています。
また、地区の会員が集まる地区研修会を年に1~2回各地区で開催しています。
会員は自治体のみなので、自治体特有の課題等についても積極的に意見交換を行っています。

地区協議会の議題 発電側課金、容量市場、非化石価値の活用、リチウムイオン電池による発火事故など

その2

最新情報に触れる機会

技術研修会では国や関係機関等を招き、最新の廃棄物処理や電力事業に関する講演会を実施しています。また、会員からの発表では、実務に即した取組や課題など自治体のみで構成される余熱協ならではの内容を聞くことができます。施設研修会では、全国の廃棄物処理施設や余熱利用施設の見学を実施しています。

最新の清掃事業に関する動向や、大きな転換期を迎えている電力事業に関する情報を知ることができ、今後の廃棄物処理施設の整備計画や余熱利用の方針等に活用していただけます。

講演・発表の内容 カーボンニュートラルに向けた取組、グリーンイノベーション基金事業 FIP制度の利用、容量市場の実需給に関する報告など

その3

会員専用ページへのアクセス

ホームページの会員専用ページでは過去の技術研修会や各地区の地区協議会の資料が掲載されており、研修会に参加ができなかった会員も各資料を閲覧することができます。

また、専門委員会で実施した一般廃棄物処理施設調査の報告書や全国の会員の施設パンフレットが掲載されており、他の自治体の施設情報等をご覧いただくことができます。



技術研修会資料



一般廃棄物処理施設調査報告書



(<http://yonetsukyo.jp/>)

余熱協 ホームページ

その4

できる限り抑えた費用負担

会員からの年会費のみで活動しており、技術研修会・施設研修会や地区協議会には参加費等はありません。

技術研修会に不参加の会員には講演資料を送付しており、地区協議会の資料等もホームページで閲覧することができます。

問合せ先 ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会事務局
東京二十三区清掃一部事務組合施設管理部内
TEL : 03-6238-0775
e-mail : hatsuden@union.tokyo23-seisou.lg.jp